

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



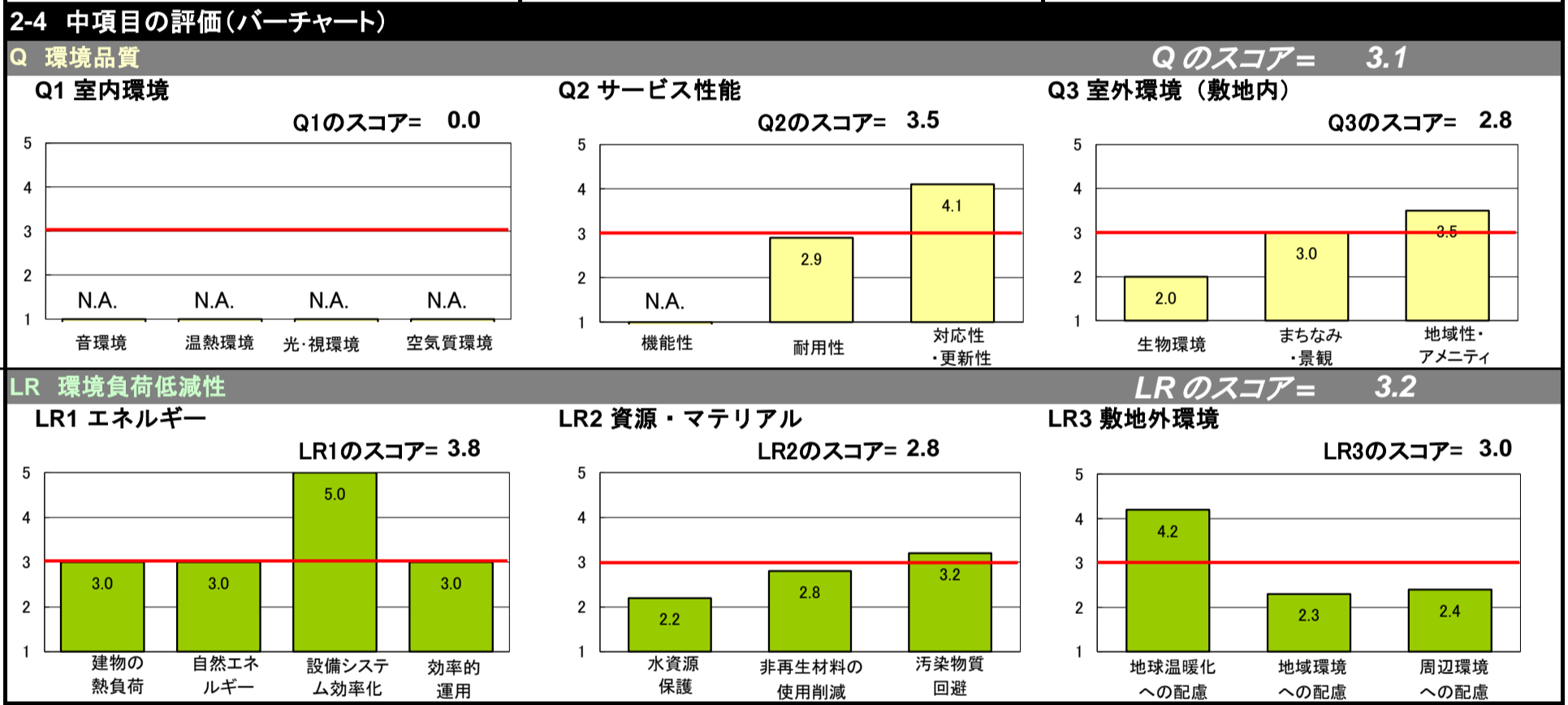
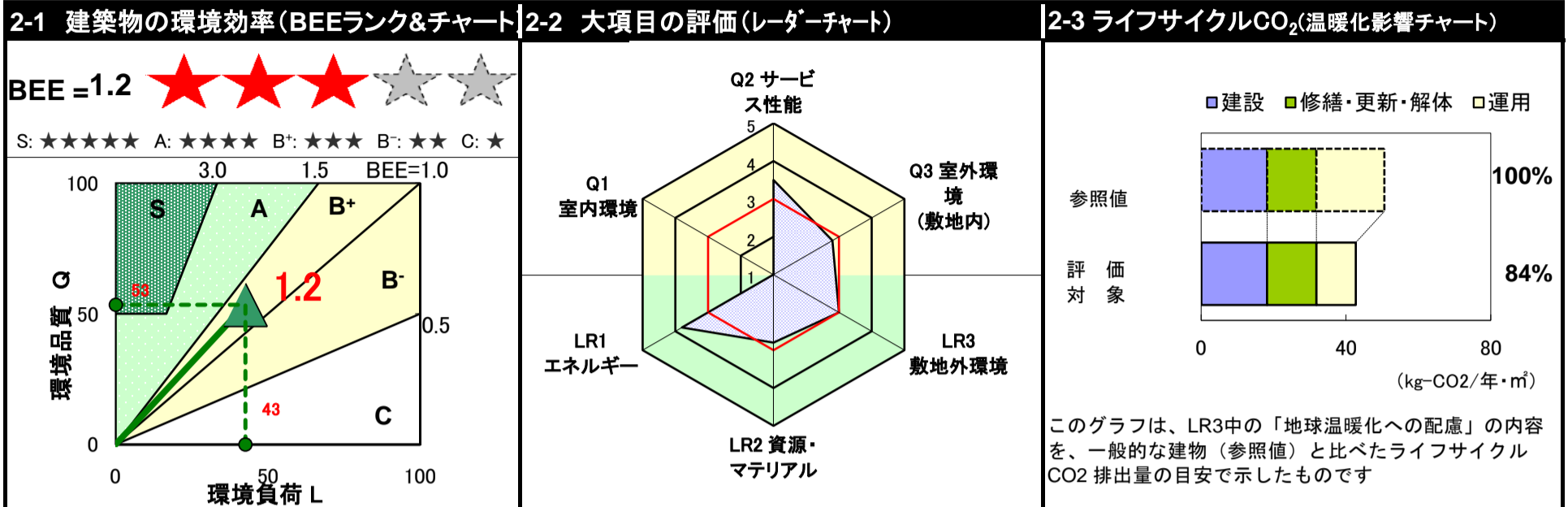
■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

1. 建物概要					
建物名称	(仮称)株式会社ツガミ新潟工場				
建設地	東区 桃山町2-132-1他				
用途地域	工業専用地域				
建物用途	工場				
竣工年	2012年6月 予定				
敷地面積	18,245.64 m ²				
建築面積	2,804.60 m ²				
延床面積	2,804.60 m ²				
階数	地上1F				
構造	S造				
評価の段階	実施設計段階評価				
評価の実施日	2012年1月16日				
2. CASBEE新潟の評価結果					
		B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{53}{43} = 1.2$		
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★					
3. 新潟市の重点項目の評価					
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	平均スコア 3.0		バリアフリー	Q2.1.1.3	-
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	平均スコア 2.8		維持管理	Q2.1.3	-
			更新性	Q2.3.3	3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	平均スコア 2.0		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	2.6
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 2.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1	3.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	平均スコア 3.0		節水	LR2.1.1	1.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	1.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	4.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	平均スコア 3.0		生物環境の保全・創出	Q3.1	2.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	4.0
			まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	3.0
4. 新潟市の重点項目の配慮事項					
景観については新潟市景観条例に適合し、周囲の環境に配慮した色彩計画としております。					

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE®新潟 | 評価結果内訳 |

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)



2-5 設計上の配慮事項

<p>総合</p> <p>建築基準法に準じた工場となっております。景観については新潟市景観条例に適合し、周囲の環境に配慮した色彩計画としております。</p>	<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>該当外</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>工場の用途のため、荷重が大きく、用途変更になった場合でも荷重のゆとりが大きくなっております。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>工場の全域の照明に、高輝度、省電力、長寿命のメタルハライドランプを採用し省エネを図りました。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>消火剤についてハロン消火剤を使用しない計画です。</p>
<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>新潟市景観条例に適合した建築物を計画。周囲の環境に配慮した色合いなどを使用しております。</p>	
<p>LR3 敷地外環境</p> <p>敷地の4分の1以上を緑地とし、周辺環境との調和と環境負荷の低減を図りました。また周辺道路への関係車両の滞留が起きないように、敷地内に十分な車両スペースを計画しました。</p>	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される